

# 自動車運転支援に関する アンケート調査結果について

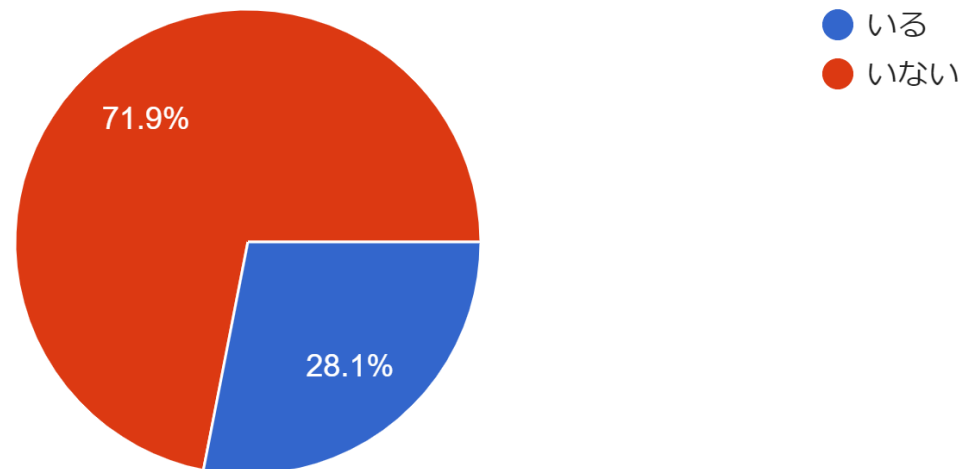
(一社)高知県作業療法士会  
高齢者・障害者の自動車運転支援委員会  
委員長 矢野勇介

# 調査方法

- 対象：高知県作業療法士会会員
- 対象施設：会員所属全施設
- 調査期間：2020年10月21日から2020年11月13日まで
- 実施方法：QRコード、URLからの回答
- 回収率：36.8% (59/160施設)

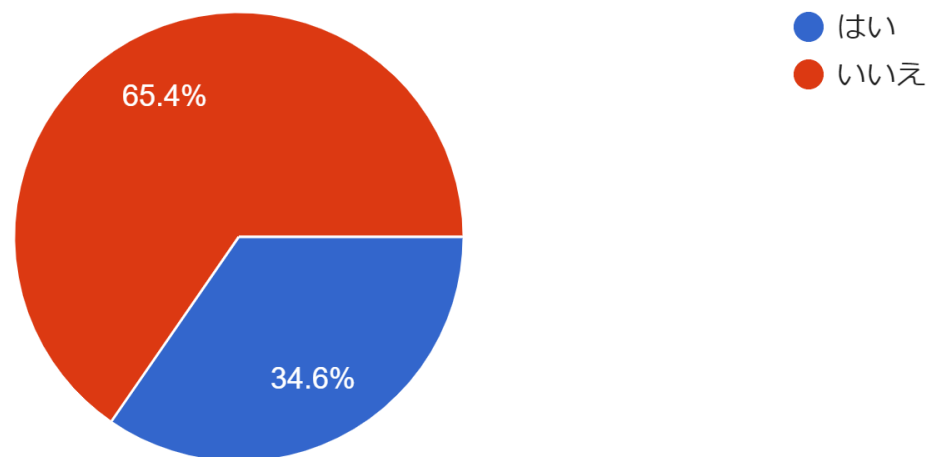
1. 現在、自動車運転支援が必要な方は居ますか？

57件の回答



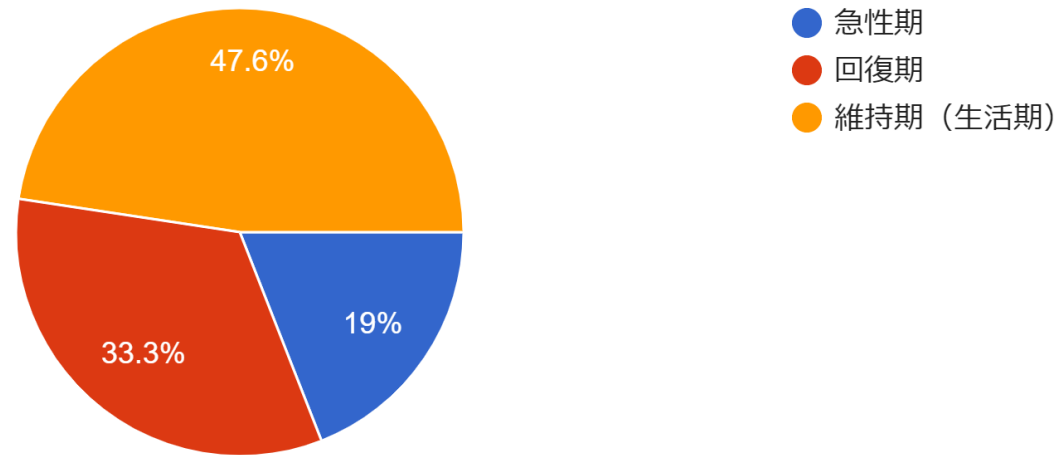
2. 貴施設では自動車運転支援に関わっていますか？ ※「いいえ」の方は設問3へ

52件の回答



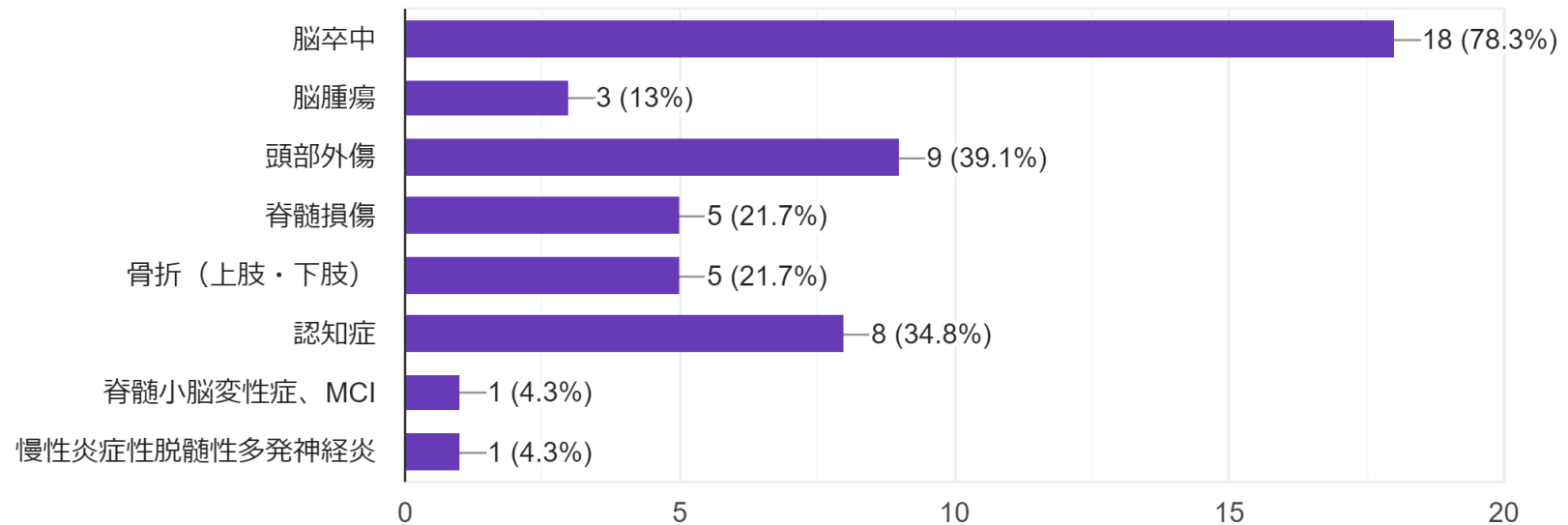
2-1 「はい」と答えた方にお聞きします。施設領域について教えてください。

21件の回答



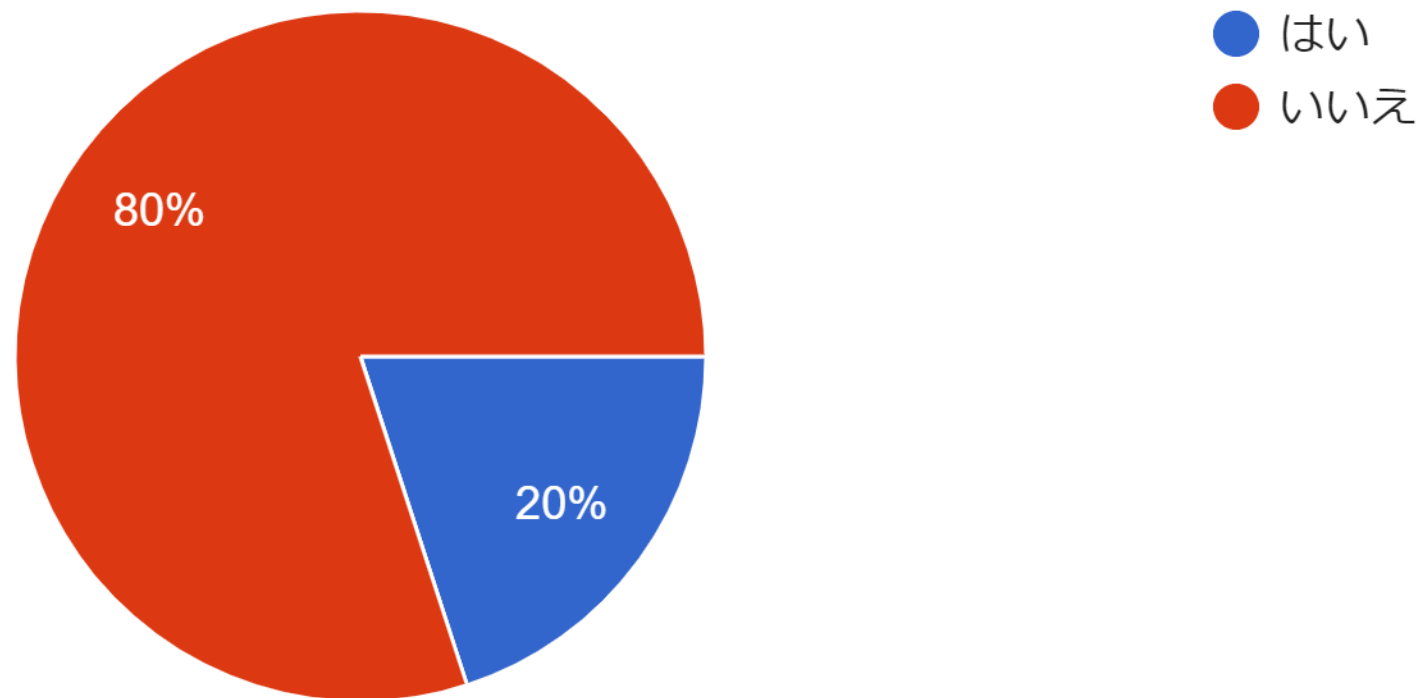
2-2 自動車運転に介入したケースの疾患を教えてください。（複数回答可）

23件の回答



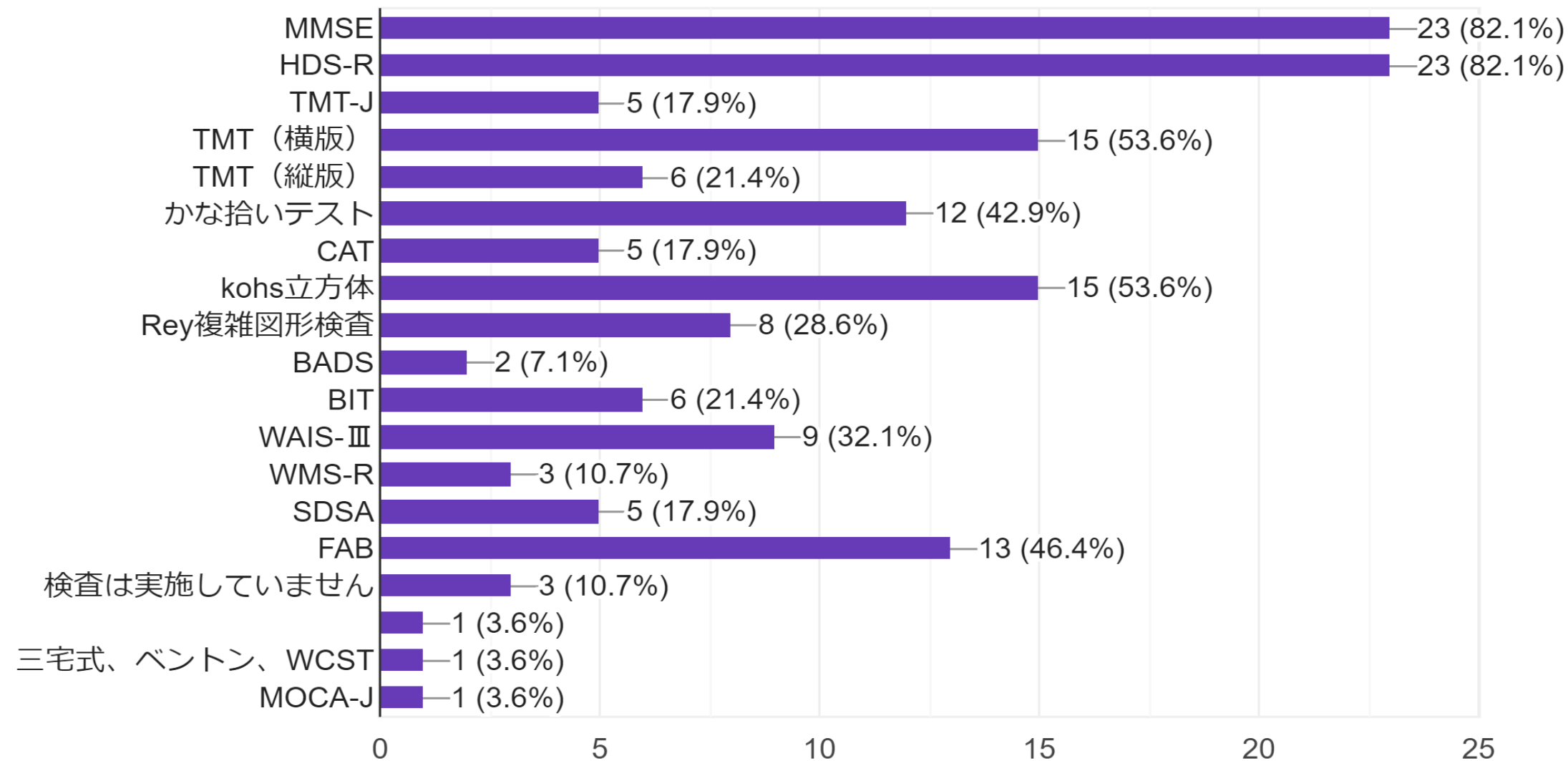
## 2-3 貴施設では自動車運転支援の手順が決まっていますか？

30 件の回答



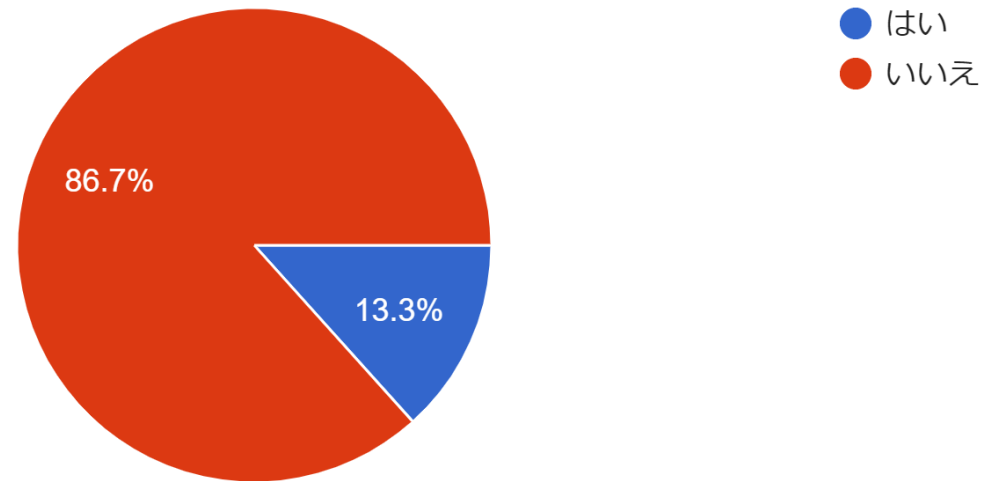
## 2-4 貴施設ではどのような神経心理学的検査をおこなっていますか？（複数回答可）

28件の回答



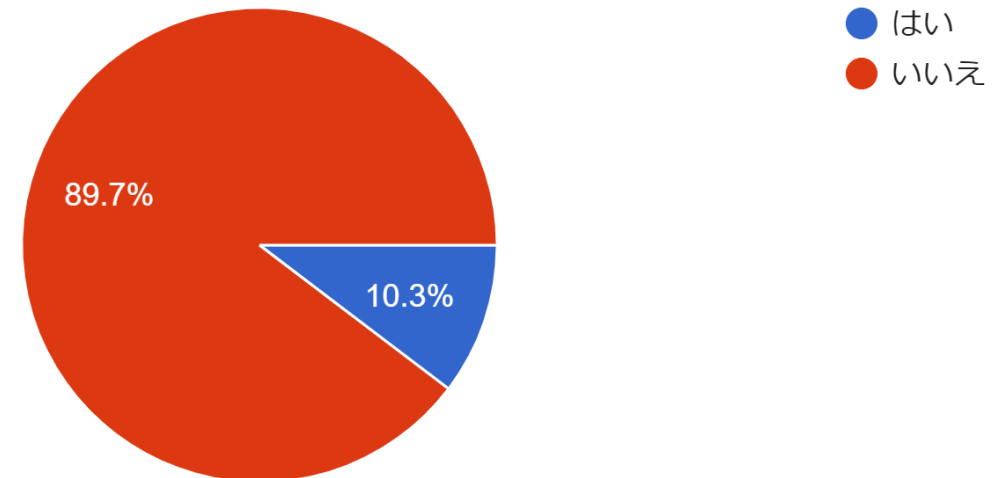
## 2-5 貴施設ではシミュレーターによる評価を行っていますか？

30 件の回答



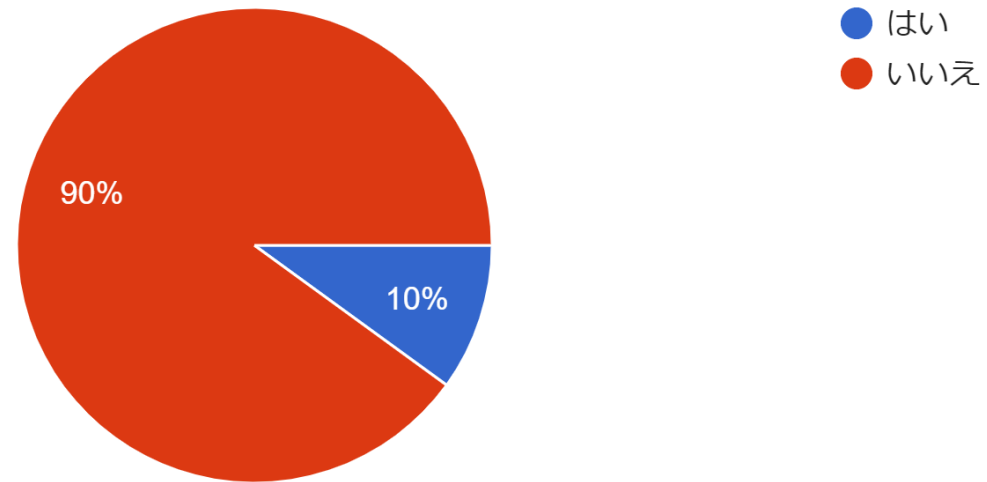
## 2-6 貴施設では実車評価を行っていますか？

29 件の回答



## 2-7 貴施設では教習所と連携していますか？

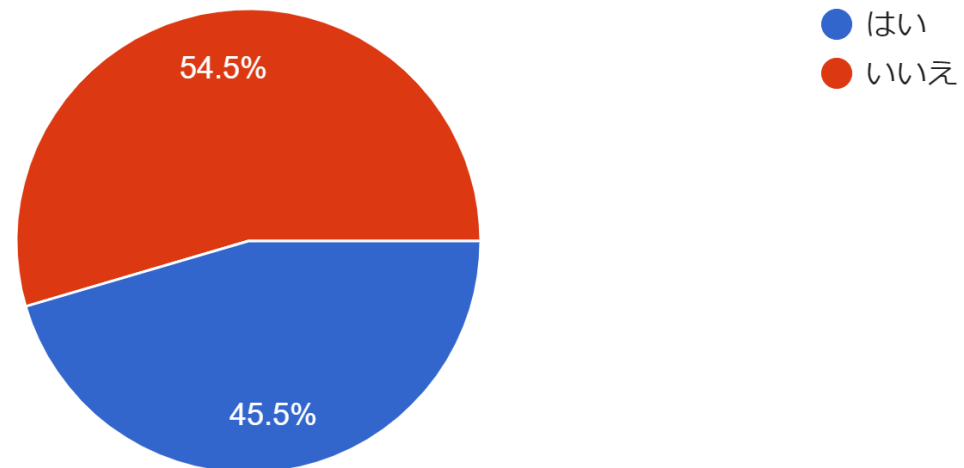
30 件の回答



### 2-7-1

「はい」とお答えした方にお聞きします。貴施設では教習所での実車評価へ同行していますか？

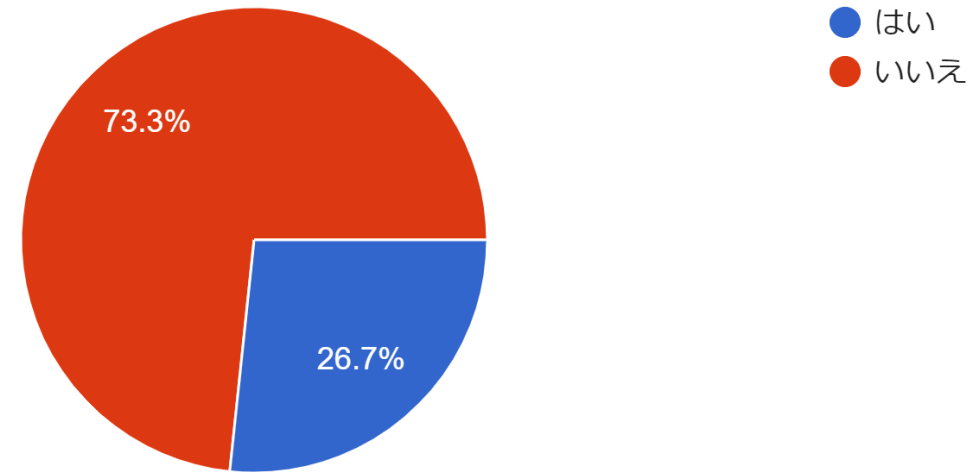
11 件の回答





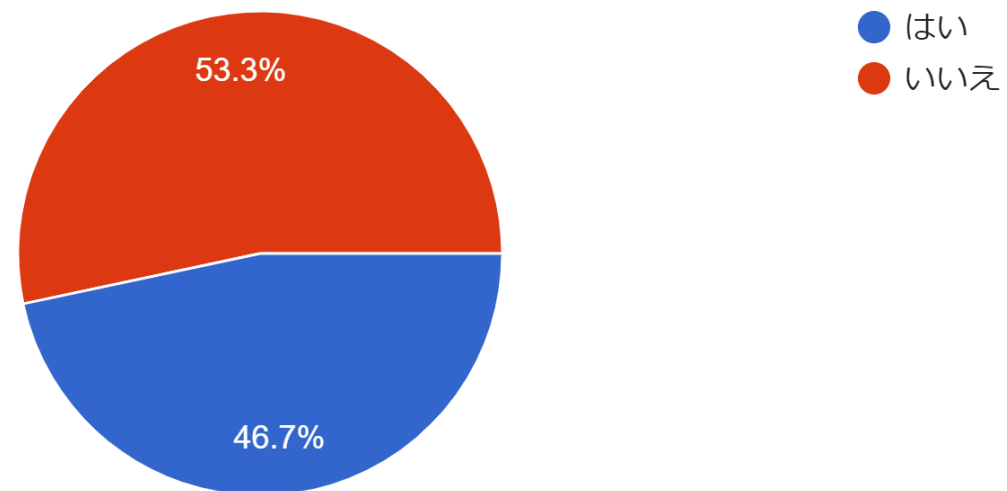
2-8 貴施設では免許センターへの訪問や情報交換を行っていますか？

30件の回答



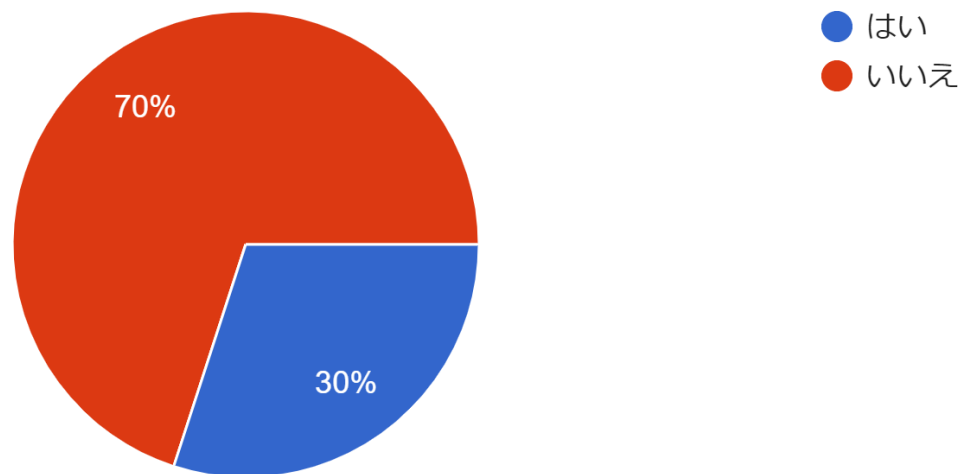
2-9 貴施設では診断書の作成はされていますか？

30件の回答



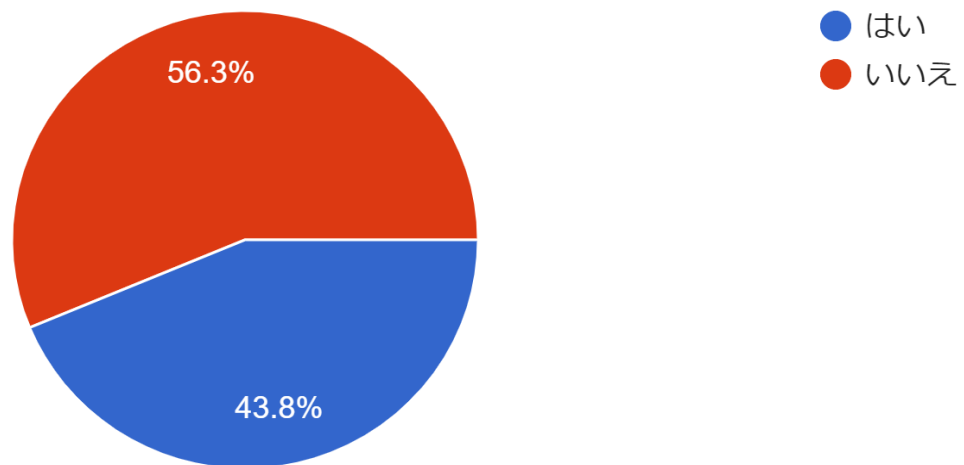
## 2-10 改造車両が必要な方を担当したことがありますか？

30件の回答



## 3. 設問2で「いいえ」と答えられた方にお聞きし...では自動車運転に関わりたいと考えていますか？

48件の回答



「はい」と答えられた方は、自動車運転に関して何でも構いません、質問や尋ねたいことがあれば教えてください。(自由記載)

- もし今後、運転技能に関してサポートが必要な方がいらした場合は、県士会に相談すれば良いでしょうか。
- 運転の支援ではないが、精神や知的障害の方で免許取得に向けて動いている方がいる。
- 高齢者が主のため、ほとんど関わる事はありません。必要があれば、情報提供等は行います。
- 改造パーツ集とかがあったら教えていただきたいです。
- 脳血管障害症例での対応の経験がないため良く分からない。
- シュミレーター以外でリハ室内で行っている訓練課題を知りたい。
- 免許更新済みで、法律上運転して可能な方が、自信がないため民間自動車学校ペーパードライバー教習を活用しているか、また割合は、県下でどこの学校が積極的に理解し受け入れているかなど知りたい。
- 他機関にどのように協力を求めれば良いのかを知りたいです。
- 対象者がいれば検討したい。
- アメリカでは上肢の運動器疾患を有する患者さんに対し、車の運転評価を行い、その可否を判断できる資格を作業療法士が有すると聞きました。今後、日本でもそのような展開があるのでしょうか？

#### 4. 自動車運転に関して、今までの取り組みで難しかったことや困ったことなどあれば教えてください。(自由記載)

- 利用者に対する情報の一元化。
- 介護施設のため、現状では自動車運転を必要とする利用者がおられません。  
個人的には前回地域ケア会議の事例で、精神疾患の方がいたため、そのような方の、免許センターとの関わり方法を知りたい。
- 現在運転をできる能力ではないこと、この先運転できる能力の再獲得ができるとは言い切れないことを、本人に納得してもらうことが難しかった。
- 独居の人の運転支援。統一された評価バッテリーが無い。
- 当院では高齢者も多く、あまり自動車運転支援の対象となる方がおらず、OT室の手順として定めた物がない現状です。セラピストが個別に学習し、本人や家族に情報提供したり(実際の適性検査についてや、手続き等の流れと方法など)、主治医に相談したりといったレベルの支援しか行えていません。ハンドル操作や乗車訓練など、部分的な動作訓練などは行っています。
- シュミレーターが無く、実車の機会も作りにくく、再開などの判断に迷う。
- 認知面の問題、免許センターとの連携が取りにくい。

- 判断が難しいケースが多いです。生活範囲を広げるため車の運転が課題に上がり、その方の身体能力や高次脳機能障害がそこまで妨げになっていないケースである場合、もし事故をしたときの責任を考えると強く勧めることが難しい事や認知症の方の運転を控えてもらうときの説明など困ることがあります。
- 自宅退院の方に急性期で運転の可否を判断すること 免許センターを紹介しているものの、対象者が実際に行ったかは不明で不安が残る。
- どうしていいかわからない。どんな手順を踏む事が正解なのかわからず、いつもばたばたとしてしまっている現状です。何名か教習所での実車にも同席していますが、なかなか件数自体は伸びていません。また、枝川での実施となり当院から遠方であることも件数が伸びない理由の一つと考えられます。
- 随分前のことですが、設備が全く整っていないので、免許センターに相談して、協力いただきました。
- 高次脳機能障害やもともとの性格もあり、紙面評価の受け入れがない方への対応など。
- ドライブシュミレータに時間がかかることとその結果の扱い(こちらが運転の可否を決められるわけではないので)に困りました。

## 5. 自動車運転に関して士会へのご質問・ご要望などあれば教えてください。

- 対象者に説明する運転支援に向けてのパンフレットを作ってください。
- 現状での症例からの需要はどれくらいあり、実務的にどうなのか教えて欲しい。
- 毎年、障害者運転支援教室を開催していただきありがとうございます。興味を持っている職員も多く、今後も継続して開催していただきたいと思えます。
- 運転に関する評価方法や免許センターとの関わり方など勉強不足な部分が多いので、評価のポイントや連携の仕方、事例などの勉強会や資料があれば参考にさせていただきたいと思えます。
- 各病院の運転支援の取り組み、フォローの方法の具体例を知りたい。
- 今後、当施設で対象者がいた場合、気軽に相談できる場や人がいるといいと思えます。
- 免許センターとの情報交換、実車評価での評価視点など、共有できるものがあれば。
- 高知県は人口も少なく、ドライブシュミレータの実施数も少ないかと思われまます。今後のために、複数施設でデータを蓄積していくような取り組みを士会や養成校がリードしてくれることを期待します。



# まとめ

今回のアンケート調査から、自動車運転再開支援に関わっている施設が回復期病棟や生活期での介入が多く、疾患では脳卒中が一番多く、頭部外傷、認知症の順で多くなっていました。また、教習所や運転免許センターと連携をとっている施設もあることが分かりました。

しかし、その反面統一された評価基準がないことや運転支援までの流れや手順がなく苦慮している意見も聞かれていました。教習所や運転免許センターとの連携の仕方、運転に関する法制度の知識不足などの課題点も伺えました。

県士会への要望としては、運転支援に関するパンフレット作成や積極的に介入している施設の具体的な運転支援の取り組み、免許センターとの連携、運転支援に関しての相談先などの意見が挙がっていました。

# 今後の取り組みについて

今回のアンケート結果をふまえ、委員会の中で検討し今後の委員会での取り組みを以下にまとめました。

## ① 自動車運転に関する研修会の開催

⇒積極的に運転支援に介入している施設の具体的な取り組み  
報告など

## ② 自動車運転支援に関するパンフレットの作成

⇒運転支援の流れや手順、法制度など

## ③ 運転支援に関しての相談先の広報

⇒HP上に相談連絡先を掲載し、メールでの対応を実施。

## ④ 関係機関(免許センター・教習所)との連携

⇒今後、研修会などで関係機関の方と意見交換会や勉強会、  
実車の研修会などを企画していく。